

各種調査・ワークショップについて

1. 市民アンケート

(1) 調査設目的・実施概要

市民を対象にアンケート調査を実施し、市民が身近に感じている商業（買物）、市民の目から見た景況、就業・雇用への意向等をお聞きし、今後の施策に市民意見を反映するとともに、企業状況調査と同設問を盛り込むことで、企業側との意識差も分析します。

■調査対象区分及び配布数・配布方法

区分	調査対象数	想定回収率	種類	調査手法
市民	1,000	30～40%	1 種類（4～8 頁程度）	郵送配布・郵送回収

(2) 調査項目案

①基本情報	1. 性別、年齢、住所、職業、従業員数、家族構成、居住年数
②商業について	1. 平日・休日別日用品の買い物する目的、利用する店舗形態とそれを選ぶ理由、店舗の場所、利用頻度、交通機関、希望の販売方法 2. 希望する商業施設等
③雇用について	1. 就業状況、就業場所 2. 勤めている会社を求める制度・対策 3. 今後の就業希望（業種、職種、雇用形態） 4. 勤労者福祉対策として求めること 5. 何歳まで働きたいか
④政策について	1. 生活の中での困りごと⇒ビジネスにつながるか模索 2. 商業振興・空き店舗対策で必要な取り組み 3. 工業振興で必要な施策 4. 中小企業振興で必要な施策

■アンケート調査項目案

分類	設問案		設問意図
基本情報	性別	1. 男性 2. 女性	クロス集計の基として性別の傾向を探る
	年齢	1. 20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代 6. 70代 7. 80代以上	クロス集計の基として、年代別の傾向を探る
	住所（自治振興会別）	1. 新湊 2. 海老江 3. 塚原 4. 放生津 5. 片口 6. 七美 7. 庄西 8. 作道 9. 堀岡 10. 本江 11. 戸破 12. 三ヶ 13. 黒河 14. 橋下条 15. 金山 16. 大江 17. 池多 18. 太閤山 19. 中太閤山 20. 南太閤山 21. 大門 22. 浅井 23. 櫛田 24. 水戸田 25. 二口 26. 大島 27. 下	クロス集計の基として地区別の傾向を探るほか、買い物動向として、どの地区の人が行くのかを把握
	職業	1. 会社員 5. 専門職 9. 学生 2. 自営業 6. 公務員 10. 専業主婦（夫） 3. 農林水産業 7. パート・アルバイト 11. 無職（退職含む） 4. 団体職員 8. 派遣・契約社員 12. その他	クロス集計の基として、職業別の傾向を探る
	働いている人（のみ）従業員数	1. 1～2人 5. 30～49人 2. 3～9人 6. 50～99人 3. 10～19人 7. 100人以上 4. 20～29人	クロス集計の基として、従業員数別の傾向を探る
	家族構成	1. 単身世帯 3. 核家族（親と子） 2. 夫婦のみ 4. 親・子・孫の3世代世帯	クロス集計の基として、家族構成別の傾向を探る
	居住年数	1. 30年以上 4. 3年～5年未満 2. 10年～30年未満 5. 3年未満 3. 5年～10年未満	クロス集計の基として、居住年数別の傾向を探る

分類	設問案		設問意図
商業	【平日・休日別】 日頃利用する店舗の利用目的 平日・休日で○は3つまで	1. 買い物 2. 外食 3. イベント 4. 理美容 5. 習い事、サークル活動 6. 喫茶店 7. 銀行、郵便局 8. その他	平日及び休日で店舗の利用目的の違いの把握
	【平日・休日別】 利用する店舗形態 平日・休日で○は3つまで	1. 市内の個人店舗 商店街以外) 2. 市内の商店街の店舗 3. 市内の大型店舗 4. 市内のチェーン店 5. 市内のコンビニエンスストア 6. 高岡市の商業地 商店街) 7. 市外の大型店 8. インターネット電話 FAXなどの通信販売 9. 宅配 生協等) 10. その他 上記のうち、最もよく利用する店舗形態 ()	平日及び休日で、商店街とそれ以外の買い物先の選択の状況把握
	【平日・休日別】 利用する店舗を選ぶ理由 平日・休日で○は3つまで	1. 価格が安い 2. 自宅・勤務先から近い 3. 商品の品質が良い 4. 品揃えが充実している 5. スタンプ・ポイント等のサービスがある 6. クレジットカードが使える 7. 行き付け、顔なじみ、習慣だから 8. 好み・目当ての商品がある 9. 駐車場がある 10. その他	平日及び休日で、買い物で利用する店舗選択の優先条件の把握
	【平日・休日別】 利用する店舗の場所 平日・休日で○は3つまで	1. 新湊 2. 海老江 3. 塚原 4. 放生津 5. 片口 6. 七美 7. 庄西 8. 作道 9. 堀岡 10. 本江 11. 戸破 12. 三ヶ 13. 黒河 14. 橋下条 15. 金山 16. 大江 17. 池多 18. 太閤山 19. 中太閤山 20. 南太閤山 21. 大門 22. 浅井 23. 櫛田 24. 水戸田 25. 二口 26. 大島 27. 下 28. 高岡市 29. 砺波市 30. 小矢部市 31. 南砺市 32. 氷見市 33. 富山市 34. その他富山県内 35. 石川県内 36. その他	平日及び休日で、買い物で行く場所の違いの把握
	【平日・休日別】 最もよく利用する店舗に行く頻度	【平日】 1. ほぼ毎日 2. 週に2～3回 3. 週に1回 4. 2週間に1回 5. 月に1回 6. その他 【休日】 1. 毎週 2. 2週間に1回 3. 月に1回 4. その他	平日及び休日で買い物に利用する頻度の傾向を把握
	【平日・休日別】 買い物に利用する交通機関 ○は3つまで	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 自動車 5. 鉄道・電車 6. コミュニティバス以外のバス 7. コミュニティバス 8. タクシー 9. その他 上記のうち、最もよく利用する交通機関 ()	平日及び休日で買い物に利用する交通機関の把握により交通手段に応じた商業振興策を検討
	【平日・休日別】 希望の販売方法 ○は3つまで	1. 店頭販売 2. 移動販売 3. 訪問（出張）販売 4. 電話での注文・販売 5. インターネット販売 6. カタログでの注文・販売 7. その他 8. 特になし 上記のうち、最もよく利用する販売方法 ()	平日及び休日で希望する販売方法の違いの把握
	射水市において充実してほしいと思う店舗や商業施設	1. レストラン、カフェ 2. パン屋 3. スイーツ店 4. 居酒屋 5. 衣料品店 6. 文具・玩具店 7. 酒屋 8. 惣菜・弁当屋 9. スポーツ用品店 10. CD・DVD、本屋等 11. コンビニエンスストア 12. スーパーマーケット 13. 百貨店、デパート等 14. ホームセンター、家電量販店 15. 映画館、劇場 16. パチンコ、ゲームセンター 17. 生活雑貨店 18. その他 19. 必要ない	市民の意向を把握し、魅力ある商店・商店街づくりを検討
	射水市において充実してほしいと思う店舗や商業施設以外の施設	1. 一時託児所 2. 緑地・花壇 3. コインロッカー 4. 駐車場 5. 駐輪場 6. 業務施設 会社、オフィス等) 7. 医療施設 診療所、病院等) 8. 福祉施設 高齢者、障がい施設等) 9. 文化施設 音楽ホール等) 10. 子育て支援施設 11. 生涯学習施設・交流施設 12. スポーツ施設 13. 教育施設 学校) 14. 金融機関 15. 宿泊施設 ホテル、旅館等) 16. 居住施設 マンション等) 17. 休憩所、公園 18. 公衆トイレ 19. 行政施設 窓口サービス等) 20. インキュベーション施設 21. コワーキング・スペース 22. その他 23. 必要ない	

分類	設問案		設問意図
雇用	就業状況	1 就業している 2 就業していない	クロス集計の基として、就業状況の有無で今後の就業意向の違いを把握
	就業場所	1. 射水市 2. 高岡市 3. 砺波市 4. 小矢部市 5. 南砺市 6. 氷見市 7. 富山市 8. その他富山県内 9. 石川県内 10. その他	クロス集計の基として、就業場所別の就労環境の違いを把握
	現在勤めている会社に求める職場環境	1. 育児休業 2. 介護休業 3. 看護休業 4. セクハラ対策 5. パワハラ対策 6. ポジティブアクション（女性の活躍） 7. 高齢者雇用 8. 障がい者雇用 9. その他	働きやすい職場づくりへの意識の度合いの把握
	今後就業したい業種	1. 農林水産業 2. 建設業 3. 製造業 4. 電気・ガス業 5. 情報通信業 6. 運輸・郵送業 7. 卸・小売業 8. 金融・保険業 10. サービス業 11. 教育・学習支援業 12. 医療・福祉 13. コミュニティ・ビジネス 14. NPO（非営利組織）・ボランティア 15. その他 16. 特にない	就業希望の状況から潜在的な労働力を把握し、職業教育や就職あっ旋等の施策を検討する
	今後就業したい職種	1. 企画 2. 事務 3. 営業・販売 4. サービス 5. IT関連（ソフトウェア・ネットワーク関連、映像・デザイン等のクリエイティブなど） 6. 研究・技術職 7. 建設、設備 8. 生産工・技能工 9. 公務 10. 運輸、物流 11. 農林漁業 12. 総合職 13. その他 14. 特にない	
	今後就業したい雇用形態	1. 正社員 2. 契約社員 3. パート 4. アルバイト 5. 派遣社員 6. 自宅・内職が可能な形態 7. その他 8. 特にない	多様な働き方の意向を把握し、制度の検討、啓発事業、事業者への働きかけ等を検討する
	勤労者福祉対策として求めること	1. 正規雇用の促進 2. 福利厚生の充実 3. 正規・非正規雇用の格差是正 4. 子育て支援の充実 5. 地元企業へのUターン推進 6. 多様な職種・業種の企業の拡充 7. ワーク・ライフ・バランスの推進 8. 在宅ワーク等、多様な働き方の推進 9. その他 10. 特にない	
	何歳まで働き続けたいか	1. 60歳まで 2. 61歳～65歳まで 3. 66歳～70歳まで 4. 71歳～75歳まで 5. 75歳以上 6. わからない	

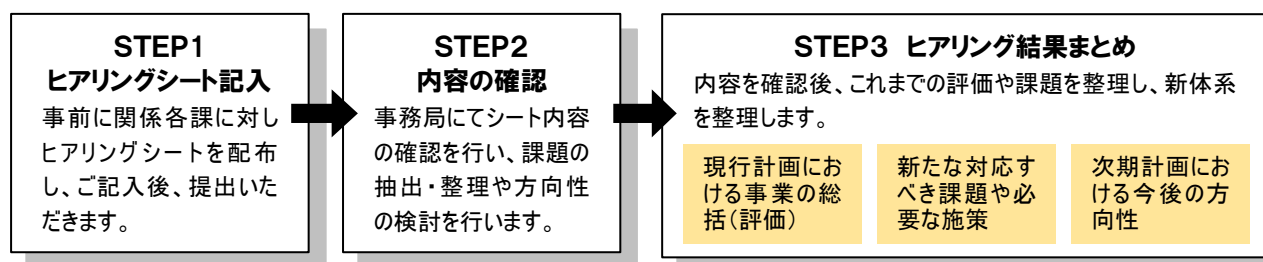
分類	設問案		設問意図
政策	生活の各種手助けのうち、あれば良いもの	1. 見守りや声掛け 2. 雪かきの手伝い 3. 話し相手 4. 移動販売 5. 買った物の宅配 6. 悩みごとの相談相手 7. ごみ出し 8. 電球交換や水栓修理など簡単な修理 9. 庭木のせん定や草むしり 10. 部屋の掃除 11. 食事づくり 調理の補助) 12. ペットの世話 13. 通院による外出の手伝い 14. 弁当の配食 15. 短時間の子どもの預かり 16. その他 17. 特になし	コミュニティ内の問題からビジネスにつながるニーズがあるかを探る
	商業振興に必要な取り組み ○(はい/いいえ)	1. 大型店の誘致 2. グローバル企業や大型店等の出店規制による商業施設の適正配置 3. 専門店の誘致 4. 家族や友人と楽しめる魅力ある飲食店の誘致 5. SNS等を用いた積極的な情報発信 6. イベントの開催 7. 若い人が集まりやすい店舗の誘致 8. 子育て家庭に優しい店づくり 9. 既存商店街の活性化 10. 魅力ある商品の開発 11. 使いやすい駐車場・駐輪場の設置 12. 文化施設や福祉施設 高齢者向け施設等)等が一体となった店舗の整備 13. 宿泊施設や地域資源の利活用、観光・交通拠点となる店舗や施設を含んだ複合施設 14. 道路・交通網の整備 15. 歩道の整備 16. 街並み・景観の整備 17. 商店の後継者の育成 18. 起業・創業支援 19. 女性や高齢者、障がいを持つ人、外国人等、多様な人材の活用 20. その他	商業振興に必要な取り組みについて市民の意向を探る
	空き店舗対策で必要な取り組み ○(はい/いいえ)	【企業状況調査票との比較を図る】 1. 所有者へ活用を働きかける 2. 市役所が借り上げ活用する 3. 商工会議所や商工会によるチャレンジショップとしての出店者の募集 4. イベントスペース等の活用促進 5. 高齢者の集いの場として利用 6. 子どもが放課後集う場所として利用 7. 起業・創業者の育成のための事務所として貸出 8. 一般への貸し出し（坪ショップ等） 9. セカンドハウス、物置、倉庫として利用 10. 市の物産品を集めた土産物店 11. 景観を考慮し、取り壊しや用途の転用を促進 12. 解体して土地を利用 ※その他の選択肢案 13. NP0などの事務所として貸出 14. 市外居住者等の移住促進 15. 宿泊できる場所として活用 16. 子育て中の親が集まる場として利用 17. 生徒・学生の自習や、大学生等が小中高生に勉強を教えるスペースとして利用 18. 新たな新商品、加工品等を試作・開発できる地域資源の利活用のためのシェアキッチン 19. 雇用創出に繋げるための貸工場、貸事務所等の新たな業種業態の誘致・集積 20. その他	空き店舗の活用方法について市民の意向を図るほか、企業状況調査と比較して、事業者の意向と市民の意向との違いを探る
	工業振興に必要なこと	1. 人材育成の推進 2. 企業誘致の推進 3. 創業期の企業等を育成・支援するための施設の充実 4. 新商品や新技術に関わる研究開発など、企業の研究開発力の強化への支援 5. 大学・研究機関等との連携 6. 市内企業間の連携 7. bT・CT化の推進 8. 既存市内企業の支援 9. 事業の後継者の確保 10. 人材や技術などの資源継承、強化の促進 11. 起業・創業支援 12. 女性や高齢者、障がいを持つ人、外国人等、多様な人材の活用 13. その他	工業振興に必要な取り組みについて市民の意向を探る
	中小企業の振興に必要なこと ○(はい/いいえ)	1. 地域に根差す商店街の多様化への支援 2. 融資制度の充実など、中小企業の経営の安定化などへの支援 3. 毎日の生活に欠かせない生鮮食料品の早くて校正な取引を行なう市場の充実 4. 仕事に携わる人材の確保、育成の支援 5. 新たな事業に挑戦する起業家やベンチャー企業への支援 6. 豊かな自然や文化資源等を活かした観光の振興 7. 農業や工業など、異なった業種間における事業協力の推進 8. サービス業など、今後必要性が高まる業種の立地の推進 9. 大学の持つ知識、技術と企業の持つ技術、技能による共同研究等への支援 10. 商工会議所や商工会など、市内産業界の団体との連絡、協力、支援強化 11. 大型トラックや宅配便による貨物輸送など安全、効率的な流通活動の促進 12. その他	企業、商店などの地域産業は、働いて収入を得る、消費する、情報交換の場、お店があるだけで安心、といった市民の日常生活に深く関わっている。この地域産業をより活性化するための市民の意向を探る。

2. 関係機関・庁内等ヒアリング

実態に即した計画策定を進めていくためには、現行計画の進捗状況を把握し、施策の問題・課題点を浮き彫りにしていくことが重要です。統計やアンケート調査で浮き彫りになった課題や、国や県等の動きも踏まえた新たな方向性についての課題を、現場・窓口である関係課等に確認するため、ヒアリングによる検証を行います。

関連する課・機関にヒアリングシートを事前に配布し、現在実施している施策・事業の総括や課題の明確化を図ったうえでヒアリングを実施します。

■ヒアリングの流れ



■ヒアリングシート対象課・機関

	担当課／機関
庁内	・ 商工企業立地課 ・ 港湾・観光課 ・ 農林水産業課 ・ その他関係課 等
関係機関	・ 商工会議所 ・ 商工会 ・ 大学機関 等
その他	・ 中小規模事業者（調査等を補完する位置づけで生の意見を聴くため）

3. ワークショップ

ワークショップにより、アンケート調査や統計資料分析等では把握できない課題点、将来方向などの意見を把握し、各種施策の検討資料とします。あわせて、RESAS（地域経済分析システム）を活用しながら、中小企業振興の課題を解決するための政策立案まで到達することで、楽しみながら参加者にとっても意義のある会となるようワークショップを進めていきます。

■ワークショップの概要

	概要
参加者	・市内事業者（若手事業者、事業後継者、女性事業者） 等
参加者想定	・4名×3グループ程度で実施
実施回数	・2回
内容	【1回目（初回）プラン】90～120分程度 ・グループインタビュー 「皆さんが取り組んでいるものは何ですか？」「中小企業全般の現状や課題は？」 ・RESAS活用スタートアップセミナー 「RESASで射水市の産業を知ろう」「射水市で一番元気な産業は何？」 【2回目プラン】90～120分程度 ・RESASを活用しながら市の課題を考える⇒原因を探る⇒解決策を練る ※『KJ法』＋『ワールドカフェ』方式での実施とします